



# みなみの空



## 雪の日の子ども



雪の朝、一人の子が集団登校の列を抜け出して、誰も踏んでいない雪のある道ばたに突進していきました。まっさらな雪に1人分の足跡がつけました。班長は、「ちゃんと並んで！」とおこっています。班長さんの言うことは、正しい！当たり前です。

しかし、少しへそが曲がっているのでしょうか？校長は、別のことを思い巡らせながら、それを見守っていました。南小の全員が、集団登校の列から誰一人はみ出さず、雪の上に美しい一筋の道ができていたら…。それは、それで少し気持ち悪い…。

誰も足跡をつけていない雪を見て、そこに自分だけの足跡をつけたいと思うようなことを、心理学では、「アフォーダンス」と言うそうです。例えば、押したくなるボタン、引っ張ってみたいくなる取っ手などを見た時に感じる気持ちがそれです。

間違いなく、列に並んで登校するのは安全上大切です。一方で、心にわき上がった好奇心ややってみたい衝動を冷静に抑えてしまう子は、それでいいのでしょうか？安全を確かめもせず、飛び出したら危険です。でも、にんまりといたずらっぽい笑顔の子が、キョロキョロと安全を確かめて、満面の笑顔で雪の中へ入って行ったら…。きっと、私も笑顔になってしまうでしょう。

みなさんは、どうでしょう？ルールを守ることが大切ですが、何でもかんでもルールに縛り付けるのはちょっと違うと感じているのは私だけでしょうか？怪我をするような失敗はしてほしくありませんが、雪を踏みに行って深みにはまって雪だらけになるとか、靴の中が濡れるとか…。笑える経験が判断力を育てると思うことがあります。迷惑をかけるはみ出しと、笑って済ましてもらえるはみ出しを見極めることや多様な感じ方を認め合うことを教えるのも教育だと思いました。



## 今後のコロナ対策について

コロナウイルス感染の第2波は、全国的に厳しい状況にまで悪化し、福島県での感染者も急増しました。会津でも、大きなクラスターが発生し、私たちの暮らしのすぐ近くまでウイルスが迫っていることを実感するできごとが多くありました。

福島県の感染状況は徐々に改善しているようです。「福島県コロナウイルス緊急対策」は、2月14日で終了しました。これまで自粛していた教育活動の多くを再会でき、ホッとしています。

今後心配はなくなりますが、私どもが特に心配しているのは卒業式です。昨年度の卒業式は、直前まで臨時休校があったものの何とか形を変えて実施しました。先ず、式の実施、そしてできることならば、本来の形にできるだけ近い形での実施を願うばかりです。



これからもコロナウイルスの感染状況は、決して油断できるものではないと考えています。しかし、卒業式だけでなく子ども達の心を動かす大切な教育活動を何とかして実施しようと職員一同知恵を絞って考えようと思います。学校の動きは、できる限り発信していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 3月の主な予定

《コロナウイルス感染拡大状況によって変更の可能性があります》

変更が生じた場合は、関係のご家庭にできるだけ速やかにご連絡申し上げます。

- |       |               |        |             |
|-------|---------------|--------|-------------|
| 2日(火) | 6年生を送る会       | 6日(土)  | 親子奉仕作業      |
| 3日(水) | 授業参観A         | 22日(月) | 特別時程13:50下校 |
| 4日(木) | 授業参観B         | 23日(火) | 卒業証書授与式     |
| 5日(金) | 特別時程 11:40 下校 | 30日(火) | 離任式         |

